

「第3次生物多様性かぞ戦略」策定のポイント

ポイント1

○基本目標・施策の見直し

- 1 国・県の動向を踏まえ、基本目標のサブタイトルを「ネイチャーポジティブの実現」に変更する
- 2 市総合振興計画との整合を図り、「鳥獣対策」を一つの施策の柱に位置付ける
- 3 3つの目標を見直し、知るは「知る・学ぶ」へ、守るは「守る・再興する」へ変更し、また、「守る・再興する」を1番目に位置付ける

基本目標
「豊かな自然と共生するまちをつくる」

～先人から受け継いだ水と緑に恵まれた環境を保全し、人と自然が共生できるまちづくりを推進します～

目標	1 知る	施策	7 つ
	2 守る		
	3 活用する		

基本目標
「豊かな自然と共生するまちをつくる」
～ネイチャーポジティブの実現～

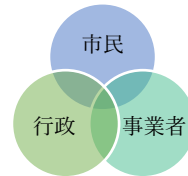
目標	1 守る・再興する	施策	8 つ
	2 知る・学ぶ		鳥獣対策を施策に追加
	3 活用する		

※ ネイチャーポジティブ：生態系を確保し、自然の恵みを維持・回復させ、自然資源を守りつつ活用する社会の実現

ポイント2

○「だれが・何を」市民、事業者、行政の役割の明確化

- 1 各取組ごとに役割の星取表を作成
- 2 計画に進行管理調書（指標）を組み込む

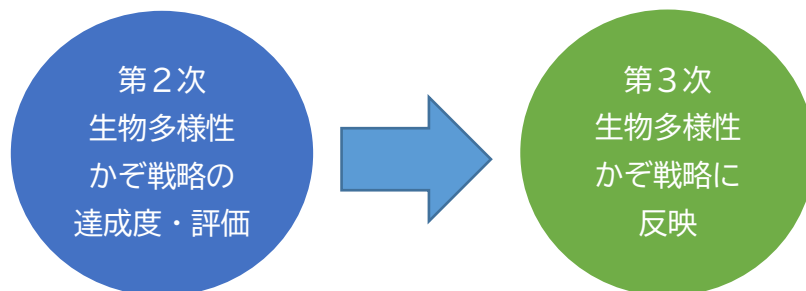


No.	目標	施策	取組事務事業	概要	所管課	役割			
						市民	事業者	行政	
例	1	II 守る	2 緑の保全・創造・活用	(1)身近な緑の保全・創造・活用	【指標】保存樹林の指定面積 令和6年度目標132,000㎡ 実績91,718㎡	環境政策課	●	●	●
	2				【指標】公共施設グリーンカーテン設置数(学校は除く) 令和6年度目標47箇所 実績9箇所	環境政策課			●

ポイント3

○現計画の評価結果を第3次計画に反映

- 1 現計画の達成度・評価を検証し、4 施策を廃止、9 取組を追加、位置付け変更 2 (51 取組→56 取組)



大幅遅れ・やや遅れ
11 本 (全 51 本)

・大幅遅れ・やや遅れ、なしを目標
・新たな施策の追加
・既存施策の見直し